

台風接近時のタイムライン

台風が接近・上陸する前に行動できるよう、備えましょう。

- ① 洪水・内水氾濫ハザードマップまたは東京都防災アプリで、自宅や周辺で浸水するおそれがあるか確認
- ② 東京マイ・タイムラインで、あらかじめ決めてご自身やご家族の行動を確認
- ③ 家の周りの点検・清掃
- ④ 土のう、止水板の準備
- ⑤ 気象情報はこまめに確認



避難所に行くことだけが避難ではありません

避難というと、小・中学校等の避難所へ行くことを考えますが、避難所を利用する以外にも、浸水のおそれがない親戚や友人の家に避難したり、宿泊施設に避難するのも避難方法の一つです。ご自身やご家族に合った避難の仕方や避難先を今一度考えてみましょう。

早期注意情報 大雨注意情報
事前準備 台風接近・上陸 2〜3日前

大雨警報 洪水警報等
台風接近・上陸前日から当日

土砂災害警報 氾濫危険情報等
台風接近・上陸当日

警戒レベル5
大雨特別警報等
災害発生または切迫

高齢者等避難 発令 危険な場所から高齢者等は避難

高齢者など、避難に時間のかかる方は、雨風が強くなる前に、早めに避難を始めましょう。それ以外の方は、非常用持出品の準備などを進め、避難に備えましょう。

- 要配慮者への支援**
高齢者や子ども、障害のある方などは、情報収集や避難行動などで、困難な状況に置かれることが多く、支援が必要になります。地域との交流を積極的に行い、いざというときの援助ができるようにしましょう。
- ペットの避難について**
各避難所ではペットを受け入れず、次の点にご注意ください。
① ペットの滞在スペースは、人の滞在スペースとは別になります。
② 受け入れられるのは、犬や猫などの小動物です。
③ エサ、ケージなどのペット用品は、持参してください。
④ ペットは、ケージに入れ、飼い主の方が管理してください。

避難指示 発令 危険な場所から全員避難

避難対象地域の方は、速やかに避難行動を開始しましょう。区のホームページなどで情報収集し、ご自身やご家族の状況に合わせた避難を始めましょう。

- 要配慮者への支援**
・水平避難
避難所等の避難先へ移動すること。多摩川の洪水浸水想定区域内の方は水平避難が原則。
・垂直避難
建物の2階以上などへ移動すること。多摩川などの大きな河川から離れているが、内水氾濫などで自宅が浸水のおそれがある場合には、建物の2階などに避難しましょう。
- 避難時の注意点**
2人以上で行動する
・避難するときは2人以上で行動しましょう。
・近所の方々と声をかけあって避難しましょう。
動きやすい服装で

緊急安全確保 命を守る行動を！

多摩川の氾濫等、すでに災害が発生または切迫しているため、むやみに外に出ることは危険です。周囲の状況をよく観察し、自宅の2階以上に移動するなど、少しでも安全と考えられる行動を取りましょう。

風水害時の情報入手方法

スマートフォンなどで事前に登録・フォロー

事前に登録しておくことで、スムーズに情報が受け取れます。

災害・防犯情報メール

あらかじめメールアドレスをご登録いただいた方に、避難情報や開設避難所の情報等がメールで届きます。詳しくはこちら→

Yahoo! 防災速報 (iPhoneアプリ・Androidアプリ)
<https://emg.yahoo.co.jp/>

「Yahoo! 防災速報」アプリをインストール・設定していただくことで、世田谷区からの防災情報等をスマートフォンで受信できます。



その他方法

世田谷区防災ポータル
<https://setagaya-bousai.my.site.com/>

「避難情報」「避難所の開設情報」等を確認できるほか、平時でもハザードマップの情報等をご確認いただけます。

テレビ

地上デジタル放送視聴時にリモコンの「dボタン」を押すと、気象情報や区の避難情報、開設避難所の情報等を確認できます。

ラジオ
<https://fmsetagaya.com/>

エフエム世田谷(83.4MHz)で、区の避難情報や開設避難所の情報等を聞くことができます。

緊急速報メール(登録不要)

世田谷区内にいる方の携帯電話やスマートフォン等に区の避難情報等を配信します。
※設定を変更しない限り、マナーモードにしても音が鳴ります。詳しくはこちら→

気象情報や河川情報の収集方法

気象情報や河川情報をこまめにチェックしましょう。

気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
最新の気象情報や今後の推移などのほか、洪水や土砂災害の危険度(キキクル)なども確認できます。

国土交通省京浜河川事務所ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
多摩川の水位や河川ライブカメラ画像等をリアルタイムで確認できます。

東京都水防災総合情報システム <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/>
東京都が観測している降水量や河川水位情報等をリアルタイムに確認できます。

非常用持出品チェックリスト

避難するときのため、必要最低限の持出品と、非常時のための備蓄品を準備しておきましょう。

- 貴重品**
□現金(硬貨含む)
□身分証明書の写し
- 清潔維持用品**
□タオル
□ティッシュ・ウェットティッシュ
□アルコール消毒液
□体温計
- 照明・情報**
□懐中電灯
□携帯電話
□充電器(電池式)
- 衣類**
□携帯ラジオ
□筆記用具
- 飲料水**
□飲料水
- 食品**
□非常食(栄養補助食品)
□缶詰
□レトルト食品
- 応急医療**
□常備薬・持病薬
- 日用品**
□ゴミ袋
□食品用ラップ
- 雨具**
□雨具
□運動靴

なお、世田谷区では、災害に備えて、各ご家庭における1週間程度の備蓄(1人1日3リットルの飲料水、食料、トイレなど)を推奨しています。

多摩川洪水版

多摩川洪水版について

多摩川洪水版は、国土交通省京浜河川事務所が平成28年度に公表した「多摩川洪水浸水想定区域図(想定最大規模) (想定雨量:多摩川流域の2日間総雨量58mm)」をもとに、台風や大雨時に多摩川の堤防が決壊し、洪水が発生した場合の浸水想定区域や浸水の深さ、洪水による家屋等の倒壊の危険がある区域、避難所等を示したものです。

河川の洪水予報

洪水予報は、大雨により河川の増水、氾濫が発生するおそれがあるときに気象庁と国や都が共同して発表する防災情報です。世田谷区では、多摩川と野川・仙川が洪水予報河川として指定されています。
※野川・仙川については、氾濫危険情報のみ発表されます。

洪水予報の標題(種類)	とるべき行動	警戒レベル
氾濫発生情報	災害がすでに発生している状況。命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保。	5相当
氾濫危険情報	避難指示の発令に留意する。避難指示が発令されていなくても自ら避難の判断を。	4相当
氾濫警戒情報	高齢者等避難の発令に留意する。高齢者等以外の方も避難の準備をしたり、自ら避難の判断を。	3相当
氾濫注意情報	ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認。	2相当

警戒レベルの相当情報とは、避難の目安となる気象情報です。世田谷区は、必ずしも警戒レベル相当情報の発表と同時に、避難情報を発令するわけではありません。気象情報を参考に、適切な避難行動を取りましょう。

